

園芸療法実践講座（第1回） 報告

1 開催日

令和8年6月18日（木）

2 講師

リハビリテーション西播磨病院 園芸療法士 楠 美和

3 報告

前半は、植物のある環境や植物と関わる諸活動をツールとする園芸療法の概要や植物の取扱いにおけるリスク管理（とげ・毒性・害虫・アレルギー等）について、講師が実践した病院や高齢者施設等での取組を踏まえて、講義を行いました。

後半の実習では、グループに分かれて、ドライフラワーにもなる生花を用いた創造活動を通して、植物のもたらす五感の快刺激、癒しの効果を体感していただきました。また、各々の作品を鑑賞していただくことによって感想を述べ合い、交流を深めることができた講座となりました。

【受講者アンケート（一部抜粋）】

- ・園芸療法の5つの癒しを通して、園芸療法のもつ力、意味を知ることができた。
- ・リスク管理の重要性。有毒植物や連作障害についての資料が大変参考になった。
- ・特養で働いているが、利用者に応じた取り入れ方が参考になった。



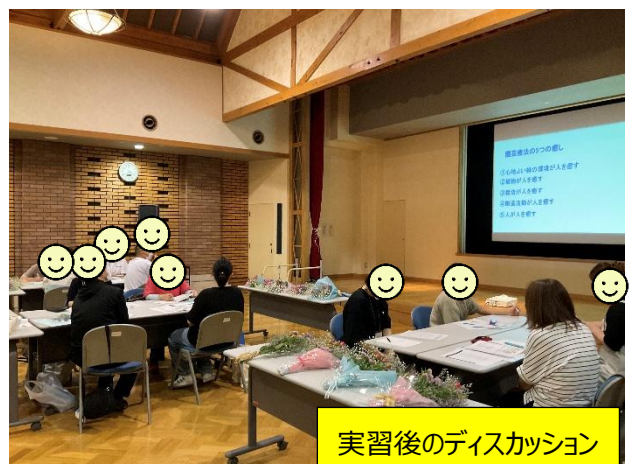
講義風景



グループに分かれて花束作り



花束のラッピングを選ぶ



実習後のディスカッション